

心臓血管センター 心臓血管外科

- 心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本外科学会 外科専門医制度修練施設
- 関連 10 学会構成 腹部ステントグラフト実施施設
- 関連 10 学会構成 胸部ステントグラフト実施施設
- 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設



心臓血管センター
心臓血管外科 部長

島田 亮

特色

心臓血管外科は、心臓血管センターの外科部門として、心臓血管内科との円滑な連携のもと、心臓、大血管、末梢血管のあらゆる疾患に365日、24時間体制で対応しています。診療経験豊富な心臓血管外科専門医が常時待機し、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、心筋梗塞後合併症などの緊急手術が必要な疾患に関しても、高い救命率を維持しています。大動脈疾患に対しては、根治性の高い人工血管置換術を第一選択として治療を行っていますが、高齢者を中心に個々の症例に応じて、低侵襲であるステントグラフト内挿術も数多く行っています。近年では、B型解離に対する亜急性期でのステントグラフト治療も積極的に行っております。

弁膜症に対する弁形成・弁置換術も安定した成績を維持しており、近年増加している小切開低侵襲手術（MICS）も開始しました。症例に応じてにはなりますが、今まで以上に術後のADLを下げずに手術が可能となりました。そして本年より径カテーテルの大動脈弁置換術（TAVI）治療を開始する予定となっており、主に高齢で低ADLな症例に対して、有用な治療法となっております。カテーテル治療が不適である狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術も安定して継続しております。昨年より導入した左心補助デバイス（Impella）を使用することにより、より重症な心不全症例においても外科治療介入が可能となっております。

下肢静脈瘤に対しては、高周波焼灼術や医療用接着剤（venaseal）を用いた血管内治療に加え、外科的瘤切除を併施することでより綺麗な外観となるよう心がけています。

一般病床56床及び10床の心臓血管専門CCUを設置しており、さらに2023年から新ICUが稼働し、本年ICU病床を2床増床しました。より多くの症例に対して集中治療管理が可能となっております。

2000年6月に心臓血管センター・外科を開設以来、2024年9月までで総手術数5,000例を超え、うち心臓大血管手術は2,500例余りでした。内訳は下肢静脈瘤10%、虚血性心疾患20%、心臓弁膜症30%、大動脈疾患40%です。2024年度の総手術数は232例でした。

診療内容

対象疾患	具体的傷病名
虚血性心疾患	狭心症、心筋梗塞、心筋梗塞後心室瘤、心筋梗塞後心室破裂、虚血性心筋症、心室性不整脈
心臓弁膜症	大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、肺動脈弁の閉鎖不全症および狭窄症、感染性心内膜炎、先天性心臓弁異常
大動脈疾患	胸部大動脈瘤、広範囲胸腹部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性および慢性大動脈解離、外傷性大動脈瘤、感染性大動脈瘤
先天性心疾患	心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、大動脈縮窄症、ファロー四徴症など
心臓・大血管外傷	外傷性心臓破裂、大動脈破裂など
末梢血管疾患	四肢の閉塞性動脈硬化症、血栓症、動脈瘤
静脈疾患	下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、急性および慢性肺塞栓症

実績

入院実績 (人)		主な手術件数			
年間延入院患者数	4,718	腹部大動脈瘤	33	僧帽弁閉鎖不全症兼 三尖弁閉鎖不全症	12
新患者数	247	急性大動脈解離 StanfordA	17	左下肢静脈瘤	10
外来実績 (人)		右下肢静脈瘤	13	大動脈弁狭窄症	7
年間延外来患者数	1,983	両下肢静脈瘤	13	狭心症	6
新患者数	74	胸部大動脈瘤	12	不安定狭心症	6
1日平均患者数	8.2				

スタッフ

医師名	役職	専門分野	専門医認定 / 資格など
島田 亮	部長	心臓、血管疾患全般	日本外科学会外科専門医、心臓血管外科専門医 ステントグラフト腹部指導医、ステントグラフト胸部実施医 下肢静脈瘤血管内治療指導医
東 修平	副部長	心臓、血管疾患全般	日本外科学会外科専門医、心臓血管外科専門医 ステントグラフト腹部指導医、ステントグラフト胸部指導医 下肢静脈瘤血管内治療指導医
鈴木 達也	副部長	心臓、血管疾患全般	日本外科学会外科専門医、心臓血管外科専門医 ステントグラフト腹部指導医、下肢静脈瘤血管内治療指導医

地域医療機関の先生方へ

心臓血管外科スタッフは3名と少人数ではありますが、常時緊急症例にも対応できるように循環器内科 Dr と連携し、治療を行っております。

本年より右肋間アプローチで行う、小切開低侵襲手術（MICS）での弁膜症手術を開始しました。症例に応じては異なりますが、低侵襲化を図ることにより、術後のADL低下を少しでも防ぐことができると考えています。

さらに本年より経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）を開始し、より高齢で低ADLな症例に対しても大動脈弁手術が可能となります。

左心補助循環デバイス（Impella）を使用した、重症心不全症例に対する手術や、ドクターカーの導入など、これまで以上に皆様のお役に立てるように頑張っております。

緊急症例の相談はもちろん、お悩み中の症例であっても当院心臓血管センターにご相談ください。



24時間 365日対応

24h 心臓血管センターホットライン

TEL.070 - 2915 - 7179

(医療関係者専用電話)